



学校通信 8月号

令和4年7月20日

あざみ野だより

横浜市立あざみ野中学校

発行責任者 校長 我妻 智之

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/azamino/>

「夢をもつこと」

校長 我妻 智之

植松努さんは、従業員 20 名ほどの北海道の小さな町工場（植松電機）の社長さんです。世界で初めての爆発しないロケットエンジン、人工衛星、世界に 3 つしかない無重力施設をつくりました。小さな会社ですが、NASA や JAXA から人も訪ねてきます。植松さんは、小さいころからの自分の夢を本気で信じて、あきらめなかったからこそ今の自分があると語っています。

考えたんです。夢って何だろう？って。できそうな夢しか見ちゃダメなんでしょうか？

でもできるかできないかは、いったい誰が決めるんだろうって、やってみなきゃわからないはずなのに、やったこともない人が決めるのは変じゃないのかなと思いました。

そして僕は、今できないことを追いかけることが、夢っていうんじゃないのかなって思ったんです。

その夢をかなえるのに一番真逆な言葉。「どうせ無理」というおそろしい言葉があります。これは人間の自信と可能性を奪ってしまう最悪の言葉です。でも、とっても簡単で楽チンな言葉なんです。これを唱えるだけで何もなくて済んでしまうから、「中小企業が宇宙開発なんか、どうせ無理だ!」とみんなが僕をとめました。自信を、夢を奪われそうになりました。

人間は生きていくためにはどうしても「自信」が必要なんです。

だから何かをあきらめ、自信を無くしてしまった人の中には、お金で自信を買うようになって身を飾るようになったり、またそれを自慢しなくてはいけなくなったり、そのためにひとを見下さなければいけなくなってしまうたり、また他の人ががんばったら困るから努力を邪魔するようになってしまう人もいます。こういう人がみなさんの身のまわりにも、もしかしたらいるかもしれません。でも、その人たちは自信をなくしてしまったかわいそうな人たちなんです。その人たちが自分の自信を守りたくってしょうがなく、他の人の自信を奪ってしまってるのかもしれない。

僕は信じてるんです。「どうせ無理」という言葉をなくせばいい社会が来ると。実は生まれたときからあきらめ方を知ってる人間なんてこの世にひとりもないんです。みなさんは全員、あきらめ方を知らないで輝いて生まれてきたんです。若い時に、失敗した自分を、逃げた自分を、諦めた自分を、責めないでください。へこまないでください。そんなことする必要ないです。

最後にこのひと言があれば、どんな夢でもかなっちゃうよって言葉をプレゼントして終わりにしたいと思います。それは「だったらこうしてみたら?」という言葉です。考えてみてください。自分の夢を誰かにしゃべったときに、「いや、それ無理だわ〜」って言われたら、元気なんかなくなります。でも「だったらこうしてみたら?こないだ本屋にこんな本売ってたよ」とか「こないだテレビでこんな番組やってたよ」って言われたら、もっと元気がわくじゃないですか。その方が絶対楽しいです。

だからお互いに夢をしゃべって、お互いに「だったらこうしてみたら?」って言ってたら、全員の夢がかなってしまいます。全員有名人になっちゃいます。素晴らしいですね。

だからぜひ、この「だったらこうしてみたら?」が世界中で流行ったらいいなって、そしたら「どうせ無理」がこの世からなくなると思っています。ぜひみんなで、「だったらこうしてみたら?」を流行らせていきましょう。
(「思うは招く」植松さんの講演や文章より。)

誰かの夢や可能性を奪うのも、自信をもたせてがんばらせるのも話す相手の言葉が大事。人は一人では生きていけないんだな、と改めて実感しました。みなさんもこの夏休みの中で今しかできないことを探して、周りの人と語りあいながら、夢に向かって進んでいってください。

令和4年度 修学旅行を終えて・・・

第3学年主任 高橋 真由美

6月21日（火）、新横浜駅から私たちは念願の宿泊行事、修学旅行に出かけました。

初日の広島では、広島駅から路面電車「広電」に乗って、原爆ドーム前で下車しました。そして実際に被爆体験をされた切明千枝子さん、田中聡司さんのお話を聞くことができました。当時のことを本当に知る方のお話は重く、生々しく、聞いている間に涙ぐむ生徒もいました。切明さんは言いました。「うっかりしていると平和なんて、油断していると飛んで逃げてしまうの。しっかり守らないと逃げるの」と。私たちに伝えようとしてくださるお二人の思いが胸に響きました。平和学習推進委員は詩の朗読、平和宣言をし、平和集会を終えました。あの場に立って、生の声を聞いて、資料館を見学し、公園内の碑をめぐる。やはり絵空事ではない、肌で感じるものがありました。

二日目は京都で班別自主行動をしました。各班でテーマを決め、行き先を話し合い、それぞれコースを事前に決めました。順調に出発した各班はそれぞれの目的場所を目指しました。清水寺で舞台の高さ、眺めを堪能し、金閣寺では池に映る金閣寺を写真におさめ、伏見稲荷の千本鳥居に圧倒され、お土産を買い、楽しく一日を過ごしました。途中で時間が早すぎたり、遅すぎたり、コース変更を余儀なくされた班も、道に迷って、親切な京都の人に助けていただいた班もありましたが、ほぼ時間通りに全班が集合場所に帰ってきました。その顔は疲れてはいてもどこか誇らしげでした。

夜は高台寺で「能」の講義・鑑賞・体験をしました。お寺という空間で見る「能」、ライトアップされた庭は素晴らしく、「趣」「風情」「幽玄」を体感できたひとときでした。

三日目はクラス別のコースで、それぞれ体験学習をし、目的の場所を巡りました。クラスでの思い出ができた一日でした。

今回の修学旅行は、実施が危ぶまれた時期もあり、保護者のかたにも、たくさんのご協力やご助言をいただき、なんとか実施することができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。子どもたちは多くを学び、楽しみ、中学校生活の大切な、大切な思い出をまた一つ作るすることができました。この経験が今後の生活に、人生に生かされることを願っています。



《教科・部活動等の記録》

【柔道部】 横浜市中学校総合体育大会 柔道競技の部

女子団体戦 ベスト 16 県大会出場 1年生・3年生

男子団体戦 ベスト 16 県大会出場 3年生・3年生、3年生・2年生、1年生・1年生

女子個人戦 第2位 3年生

第3位 1年生

男子個人戦 第3位 3年生

県大会出場 3年生、1年生

【バスケットボール部】 バスケットボール総体北部ブロック大会

男子 3回戦進出

女子 ベスト8（準々決勝進出）

《スクールカウンセラー》

本校のスクールカウンセラーは原則として毎週水曜日に来校します。相談は予約制です。学校もしくはひだまりルーム直通の電話でご予約ください。 **ひだまりルーム直通電話 902-5180**

8月の来校予定：31日

9月の来校予定：7日、14日、21日、28日

《学校閉庁日についてのお知らせ》

本校では保護者や地域の方からの問い合わせ等に対応する日直を置かない「学校閉庁日」を設定しています。次の点に留意されて、ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校閉庁日】 8月9日（火）～8月16日（火）

（御用のある方は閉庁期間外にご連絡ください）

【学校閉庁日の緊急連絡について】

緊急連絡先 北部学校教育事務所指導主事室 **電話 944-5978**

（平日8時30分～17時15分におかけください）

※お子様の新型コロナウイルスの陽性判明については、閉庁日明けに中学校へご連絡ください。

【学校閉庁日の部活動について】

各部活動より連絡いたします。

《学校携帯電話について》

家庭連絡用に携帯電話を2台、設置しています。学校からの家庭連絡の際に使用する場合がありますのでご承知おきください。

なお、使用は学校からの【発信のみ】に限定いたします。受信はいたしませんので、折り返しのお電話の際は、お手数ですが、あざみ野中学校までご連絡をお願いいたします。

【携帯電話1】 070-1394-4123

【携帯電話2】 080-4802-0397 ※学校からの発信のみで受信はできません

折り返しのお電話 【あざみ野中学校】 902-4836

《留守番電話の設定について》

本校では下記の通り、勤務時間外の留守番電話対応を行っています。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。なお、留守番電話は録音機能がございませんのでご承知おきください。

【課業日】 19時～翌朝7時00分

【休業日（土曜日、日曜日、祝祭日等）及び閉庁日】 全日留守電対応

《メール配信について》

メール配信システムへの登録にご協力いただきありがとうございます。

登録確認メールの配信実施日時は「毎月15日15時頃」の予定です。登録確認メールが届かない場合やアドレス変更等に伴う再登録、その他のご質問はメール配信担当（安喰^{あぐい}）までご連絡ください。

電話 902-4836

また、ドメイン名（ed.mobile-cm.com）による指定受信設定をお願いいたします。設定方法は各携帯電話会社のWebページ等をご確認ください。